

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	肝炎ウイルス検診事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	040200 - 091	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	健康増進法により国が定める肝炎ウイルス検診要領			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	肝炎ウイルス検診を受診することにより、肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導を受け、医療機関を受診することにより肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し進行を遅延させることを目的とする。C型肝炎ウイルス検査、HBS抗原検査について、40歳～75歳(5歳刻み年齢)節目検診及び41歳以上で未受診者の検診を行う。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	肝炎ウイルス健診事業	5歳刻み年齢及び41歳以上で平成14年度以降	集団検診66日間実施	対象者8,815人 受診者818人 受診率9.3% 集団健診67日間実施、個別健診29医療機関実施。

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	3,527	7,092	3,793	2,965	
人件費	2,830	1,936	2,027	1,908	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,357	9,028	5,820	4,873	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	肝炎ウイルス検診年間検診日数	66日	69日	66日	67日	特定健診と同じ。
03	肝炎ウイルス検診の受診率	10.1%	18.2%	11.2%	9.3%	受診者÷対象者×100
04	コスト	96.3千円	130.8千円	88.2千円	72.7千円	フルコスト÷検診日数

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

05	コスト	8.3千円	4.8千円	6.1千円	6千円	フルコスト÷受診者数
----	-----	-------	-------	-------	-----	------------

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

過去に受診歴のない者を対象とした検診であり、受診率の低下が懸念される。

### 問題点・課題等

未受診者への受診勧奨が課題。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

肝炎による健康障害を回避するため事業継続が必要。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了